

令和2年度

学校だより

学校教育目標「伝統と文化を受け継ぎ、地域に貢献できる
人材の基礎となる資質や能力を育成する」

京都市立醍醐中学校

第6号

令和2年9月1日 文責 林



2学期が始まる

裏面に夏休みの活動の様子を載せています。ご覧ください

8月1日（土）から始まった夏休みが終わり、8月24日（月）から2学期が始まりました。今年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために休校措置が長く続いたことで、3週間の夏休みとなりいつもより短縮した夏休みでした。8月24日（月）の2学期始業式は、放送により行いました。私からは次のような話をしました。

まず、元気に、そして笑顔で登校してくる生徒皆さんに会えてたいへんうれしく感じました。大きなかがやトラブルがなく夏休みが過ごせたことをまず喜びたいと思います。

今年の夏休みは、有意義に過ごせたでしょうか。連日、気温が35度を超える猛暑日が続きました。本当に暑かったです。しかし、8月も下旬になると夜は虫の音が聞こえたり、日中は「ツクツクボウシ」が鳴き始めました。季節は確実に進んでいます。

1学期の終業式に私から「自由に使える時間が増える夏休みです。何かにチャレンジしてください。そして新しい自分を発見してください。」とお願いしました。実行できましたか。新しい自分が発見できたでしょうか。私は、運動不足にならないように、日中を避けて散歩をしたり、近所を自転車で走ったりしました。日中は読書をしました。

さて、2学期は、大きな行事が予定されています。文化の部、体育の部、合唱の部からなる学校祭、3年生の修学旅行、各学年の醍醐寺さんとの連携授業などです。全校の一人一人の生徒が、どこかの場面で輝くように願っています。そして笑顔あふれる行事になることを願っています。そこで私から2つのことをお願いします。一つ目は、「自分の意見や考えにこだわりすぎて、自分よがりにならないでほしい」ということです。意見や考えは一人一人、違います。しかし、どうしても自分の意見や考えが正しいと思いがちで他人の意見や考えを排除しがちです。他人の意見や考えをよく聞いて、「なるほど」と感じる部分があれば自分の意見や考え方を見直してください。こりかたまるのではなく、柔軟さが大切です。二つ目は「縁の下の力持ちの存在を忘れないほしい」ということです。日常生活の様々な場面で言えることですが、目立たないところで力を発揮してくれる人がいます。そういう人のおかげで物事がスムーズにまわっているのです。目立たないところで力を発揮してくれている人たちの存在に気づき、感謝の気持ちを忘れないでください。

2学期が始まても、新型コロナウイルスの感染対策は引き続き行う必要があります。密閉、密集、密接の「3密」をさけることは、もちろんですがマスクの着用、手洗いをしっかり行う、毎日の検温を忘れないなど感染予防への意識を高めてください。ただ、熱中症対策も同時に進める必要があります。屋外で周りの人との間隔が取れる場合はマスクを外す、水分補給を忘れない、規則正しい生活を送って体調を整えるなどを実行してください。充実した学校生活を送るために、心身の健康が土台になります。

それでは、一人一人の生徒の皆さん、成長を実感できる2学期になることを願っています。

雑感

今までなら夏休みが終わって2学期が始まる頃の学校だよりには、夏の選手権総合体育大会や吹奏楽コンクール、種々のコンクールでの生徒の皆さんの活躍を紹介することが常でした。しかし、今年は紹介ができません。さみしい限りですが、仕方がありません。

新しい生活様式が推奨されています。受け入れるのがむずかしいものがありますが、私たちが置かれている状況を考えると受け入れるしかありません。今は、我慢して根っこを伸ばす、いいかえれば土台をつくることに力を注ぐことが大切だと考えています。



夏季学習会

8月3日（月）と4日（火）に実施しました。午前8時30分に登校して、3時間にわたって、各自のペースでみっちり学習に取り組みました。黙々と課題に取り組む生徒もいれば、担当の先生にわからないところを質問して学習する生徒もいました。朝から気温が上がって暑くなりましたが、吹き出る汗をふきながら懸命に学習する生徒の様子を見ていると、努力は必ず実を結ぶと信じています。



リーダー研修会

8月5日（水）に、いきいき交流ルームで生徒会の「リーダー研修会」が行われました。この日も暑い日でしたが、生徒会本部役員、各クラス総務委員と有志の皆さんのが参加して活発な討議や発表が行われました。新型コロナウイルス感染症の感染対策でマスク着用で間隔を確保したり、換気をしながら進めていきました。

まず、自己紹介や「十人十色」などのゲームでアイスブレイキングして気持ちをほぐし、雰囲気を和やかにしました。この頃になると最初は硬い表情だった生徒の表情に笑顔が増えました。



次は、話し合いのメインとなる「学校改善計画」です。「みんなが楽しく通える学校」にするためには、ハッピーライフ月間や週間でどんな取り組みをすれば効果的かをグループで討議して企画書を作成しました。各グループともユニークな取り組みを考えてくれました。最後にグループごとに発表して、意見交流しました。暑い中でしたが、有意義な1日になりました。参加した生徒の皆さん、ご苦労様でした。生徒会活動が活発な学校は、学校全体が明るく活発です。ますます生徒会活動が活発になることを願っています。

なお、リーダー研修会で話し合った内容は2学期にクラスで紹介されます。

醍醐寺万灯会

8月5日（水）の夕刻から醍醐寺では恒例の万灯会が行われました。

醍醐中学校は伝統的に1年生が大灯籠を作成し、奉納してきました。今年はコロナウイルス感染症対策で、集まって制作することが出来ないため、個人が作ったものを貼り合わせる形で作成しました。

小学生の置灯籠は金堂前に、中学生の大灯籠は五重塔を取り囲むように配置されていました。ライトアップされた五重塔の周囲に配置された灯籠を観ていると幻想的で心が洗われる思いになりました。

今年は、コロナウイルス感染症対策で、お茶やそうめんの接待がなく、少しあみしい感じを受けましたが、その分、ゆっくりと鑑賞できました。万灯会の鑑賞を兼ねて、地域パトロールも行われました。PTAの方々をはじめ、地域の諸団体の方々、小・中学校の先生方ありがとうございました。



※今年は、コロナウイルスの感染対策で、活動が制約されました。生徒は、できる範囲でしっかり活動してくれました。

